

ふよう教室だより

鳥取大学附属特別支援学校

2013. 7. 26 (金)

No 7 1

新しいメンバーでスタート！！

平成25年度の『ふよう教室』が始まりました。昨年の2月に3名の仲間がふよう教室を卒業されましたが、今年、新しいメンバーが5名も加わりました。本年度は小学1年生から4年生までの13名でスタートします。この一年が子どもたちの成長にとって、よりよい時間やきっかけとなりますように、保護者および関係機関の方々とともに子どもたちに関わらせていただきたいと思います。本年度は、本校の校舎改築のために年間3回という例年よりぐっと少ない開催になりました。さらに、他校を会場として行うなど、いろいろとご迷惑をおかけしていますが、精一杯取り組んでいきますので、よろしくお願いします。保護者の皆さんも、子どもたちと一緒に身体を動かして遊んだり、情報交換をしたりして有意義な時間を過ごしてください。

本年度の予定

- 7月26日 鳥取養護学校 自立活動室
10:00～11:00
- 11月9日 鳥取養護学校 自立活動室
15:30～16:30
- 2月15日 本校体育館 14:40～16:30
- *欠席される場合は、早めにご連絡ください。



【相談会】

個々の相談にあたります。ご希望の方は、随時、受付で申し込んで下さい。事前にお電話をくださっても結構です。

【コラム32】 感覚とは？（感覚と体の動きはどうつながっているの？）

感覚の役目 ①「私たちの身を危険から、守ること」（首の上に毛虫がはっているのを感じたら虫を殺したり逃げたりします。）



②「私たちが学ぶことを助け、意欲的で社会的な人間になることを支援すること」

感覚統合

①私たちと環境（外界）をつなぐシステム、脳と体の動きをつなぐ役割（字を書く、椅子に座る、跳び箱を跳ぶなどあらゆる体の動きはどれも外界からの情報をもとにしています。）



②感覚と感情をつなぐ機能（肌触りの良い毛布、おいしいお菓子などの情報を感じ取り、脳に「気持ちいい」という感情を持ちます。）この働きは、高いところに登ったとき、怖さを感じて動けなくなることもあります。しかし、この感情が出ないとどんどん高いところにいってしまいます。



感覚の結びつきが上手くいっていないと、次のようなことが起こってきます！！



感覚が非常に敏感
（ビクビクちゃん）



感覚が非常に鈍感
（ノンビリちゃん）



感覚の刺激を非常に求める
（モットちゃん）



感覚情報の識別が難しい
（ワカンナイちゃん）



姿勢の問題を持つ（グニャグニャちゃん）



器用さの問題を持つ
（モタモタちゃん）



いろいろなタイプがありますが、無理やり何かをさせようとしないで、是非ご相談下さい。子どもたちが好む遊びや感覚を通して、自分から関わっていくことが何よりも大切です。子どもが楽しむ気持ちを第一に、ほどよいチャレンジを意識して大人が関わることで、自信がついてきます。